

経営判断に必要なデータ処理を大幅に高速化する 「かんたん Hadoop ソリューション for バッチ処理(Asakusa Framework & JP1)」を 販売開始



エントリーブレードサーバ「HA8000-bd/BD10」

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)は、IT システムに不可欠なバッチ処理^{*1}を高速化するソリューションとして、「かんたん Hadoop ソリューション for バッチ処理(Asakusa Framework & JP1)」を、4月18日から販売開始します。本ソリューションは、高集積のエントリーブレードサーバ「HA8000-bd/BD10」(以下、「HA8000-bd」)と統合システム運用管理「JP1」、効率的なデータの分散処理を実現する Hadoop^{*2}、Hadoop を活用したバッチ処理プログラムを効率的に開発するためのフレームワーク(ソフトウェアツール群)である「Asakusa Framework」を組み合わせ提供するものです。本ソリューションによって、バッチ処理の大幅な高速化^{*3}を迅速かつ容易に実現し、経営判断などに必要なデータのより高い精度での迅速な把握と利活用、さらには業務プロセスの短縮化を支援します。

*1 バッチ処理:コンピュータのプログラム群(ジョブ)の実行方式の一つで、一定時間または一定量のデータをまとめて一括処理する方式。

*2 Hadoop:オープンソースソフトウェアコミュニティ「The Apache Software Foundation」にて開発・公開されている、大量データの効率的な分散処理を実現するソフトウェア基盤。

*3 日立にて、同一のバッチ処理について、RDBMS(Relational Data Base Management System)を実行基盤にした8コアのCPUを搭載したPCサーバ1台での実行時間と、Hadoopを実行基盤にした4コアのCPUを搭載した「HA8000-bd」6台での実行時間を測定、比較した結果、11倍の実行速度を確認しています。なお、本ソリューションによる高速化の度合いは、対象とするバッチ処理によって異なり、本結果は11倍の高速化を保証するものではありません。

バッチ処理は、企業の日々の売上データの集計や会計処理など、IT システムに不可欠なデータ処理方式として幅広く用いられています。近年は、データ量の増加や処理ロジックの複雑化に伴って、所定時間内に処理が完了せず、システム全体の運用に影響を及ぼす事態が一部で発生しており、バッチ処理の高速化が大きな課題となっています。また、従来月次のバッチ処理で集計しているデータを日次で集計できるようにするといった形で、より精度の高いデータを迅速に把握、分析し、経営判断や業務改善に利活用するニーズが増加しており、投資規模を抑えた形で、データ処理の高速化を実現できる技術の一つとして、オープンソースの分散処理ソフトウェアである Hadoop への関心が高まっています。しかしながら、Hadoop を活用したシステムの構築、運用には専門的な知識や技術が求められることから、容易にデータ処理の高速化を実現できるソリューションが求められていました。

日立は、2010年7月に、高集積のエントリーブレードサーバ「HA8000-bd」を製品化しました。多数のサーバブレードを用いた分散処理に適し、システム規模に合わせた拡張性にも優れていることから、Hadoopを活用した分散処理システムの基盤として多くの採用実績を重ねてきました。2012年5月には、Webサイトのアクセスログ解析ソリューションとして、「かんたん Hadoop ソリューション for ログ解析 (QlikView & JP1)」の提供を開始したほか、株式会社日立ソリューションズが、2011年11月に、株式会社ノーチラス・テクノロジーズと「Asakusa Framework」に関して提携し、2012年10月には、Hadoopの商用ディストリビューション*4である「Cloudera Enterprise/CDH(Cloudera's Distribution including Apache Hadoop)」について、Cloudera, Inc.と販売代理店契約を締結するなど、Hadoopの活用に向けたソリューションを日立グループとして強化してきました。

*4 ディストリビューション：複数のソフトウェアをパッケージ化して提供するもの。

今回販売開始する「かんたん Hadoop ソリューション for バッチ処理(Asakusa Framework & JP1)」は、Hadoopに適した高集積ブレードサーバである「HA8000-bd」に、Hadoopを活用したシステム構築においてニーズの高い「Cloudera Enterprise/CDH」、「Asakusa Framework」、「JP1」をプレインストールし、初期設定を行い、提供する業界初*5のソリューションです。本ソリューションで採用しているソフトウェアは、オープンソースであるHadoopや「Asakusa Framework」を含め、すべて日立グループがサポートサービス(有償)を提供し、導入から運用までをトータルで支援します。本ソリューションによって、Hadoopに関する詳細な知識や技術のないユーザーでも、迅速かつ容易に、高速なバッチ処理が行えるシステムを構築することが可能になり、ITシステム運用の安定化を実現するとともに、経営判断などに必要なデータのより高い精度での迅速な把握と利活用、さらには業務プロセスの短縮化を支援します。

*5 「Cloudera Enterprise/CDH」および「Asakusa Framework」をサーバにプレインストールして提供するバッチ処理高速化ソリューションとして(日立調べ、2013年4月17日現在)。

なお、本ソリューションについて、2013年5月8日～10日に東京ビッグサイトで開催される「クラウドコンピューティング Expo」にて紹介します。

■本発表に際してのパートナー企業のコメント

株式会社ノーチラス・テクノロジーズ 代表取締役社長 神林 飛志

株式会社ノーチラス・テクノロジーズは、日立製作所の新ソリューション「かんたんHadoopソリューション for バッチ処理(Asakusa Framework & JP1)」の発売を歓迎します。Hadoopによる分散処理システムのインフラの導入、運用は、難易度が高いことが課題になっております。そこで、サーバ台数が増えるHadoopのシステム管理を効率化する為の高集積サーバ「HA8000-bd」と、統合システム運用管理として実績豊富な「JP1」とにより、運用の効率が大幅に上がることを期待しています。当社は、今後もエンドユーザー様へのよりよいソリューションの提供を図ってまいります。

■「かんたん Hadoop ソリューション for バッチ処理(Asakusa Framework & JP1)」の概要

ソリューション名	主な構成要素		価格	出荷開始時期
かんたん Hadoop ソリューション for バッチ処理 (Asakusa Framework & JP1)	サーバ	・HA8000-bd/BD10	導入時のサーバ・ ソフトウェア・サービス 6,772,500 円～ (税抜 6,450,000 円～)*6	2013 年 4 月 26 日
	ソフトウェア	・Asakusa Framework・Cloudera's Distribution including Apache Hadoop ・Red Hat Enterprise Linux 6 ・JP1/Automatic Job Management System 3		
	サービス	・かんたん Hadoop バッチ処理導入サービス ・プラットフォーム設定サービス for Hadoop ・Asakusa Framework サポートサービス ・Cloudera Enterprise/CDH サポートサービス 【オプションサービス】 ・Asakusa Framework 簡易診断 ・Asakusa Framework 検証支援 ・JP1 ジョブ管理定義変換 ・JP1 連携ソリューション for Apache Hadoop		
		・保守サービス	5,431,860 円/年～ (税抜 5,173,200 円/年～)	

*6 「HA8000-bd/BD10 X2 モデル」7 台を含む。オプションサービスは除く。

■「かんたん Hadoop ソリューション」に関するホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/ha8000-bd/>

■他社商標注記

- ・Apache Hadoop は、Apache Software Foundation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Asakusa Framework は、株式会社ノーチラス・テクノロジーズの登録商標です。
- ・Cloudera は、Cloudera, Inc.の登録商標です。
- ・Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat Inc.の商標または登録商標です。
- ・記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■本件に関するお問い合わせ先

HCA センター

電話:0120-2580-12(利用時間 9:00～12:00、13:00～17:00(土・日・祝日を除く))

以上

■「HA8000-bd/BD10」の主な仕様・構成

ブレードタイプ		主な仕様	
2 スロットブレード	CPU	インテル® Xeon® プロセッサ E3-1260L (2.40GHz) インテル® Xeon® プロセッサ E3-1220L (2.20GHz) インテル® Core™ i3-2120T プロセッサ (2.60GHz)	
	メモリー	最小 2GB(2GB × 1)/最大 16GB(8GB × 2) (DDR3 Unbuffered ECC SO-DIMM、PC3-10600(1,333MHz))	
	内蔵ストレージ	2.5 型 750GB SATA HDD(5,400min ⁻¹) × 3 / 2.5 型 1TB SATA HDD(5,400min ⁻¹) × 3	
	サポート OS	Red Hat Enterprise Linux 6.1 以降、5.6 以降 (AMD/Intel 64)*1	
	外形寸法、重量	40(W) × 428(D) × 94.2(H)mm、約 1.6kg	
1 スロットブレード*2	CPU	インテル® Xeon® プロセッサ E3-1220L (2.20GHz) インテル® Core™ i3-2120T プロセッサ (2.60GHz)	
	メモリー	最小 2GB(2GB × 1)/最大 16GB(8GB × 2) (DDR3 Unbuffered ECC SO-DIMM、PC3-10600(1,333MHz))	
	内蔵ストレージ	2.5 型 250GB SATA HDD(7,200min ⁻¹) × 1/ 2.5 型 750GB SATA HDD(5,400min ⁻¹) × 1/ 2.5 型 1TB SATA HDD(5,400min ⁻¹) × 3 2.5 型 300GB SATA SSD(MLC) × 1	
	サポート OS	Windows Server® 2008 R2 Standard 日本語版(SP1) Windows Server® 2008 Standard(32bit) 日本語版(SP2) Red Hat Enterprise Linux 6.1 以降、5.6 以降 (AMD/Intel 64)*1	
	外形寸法、重量	19.5(W) × 428(D) × 94.2(H)mm、約 1kg	
HA8000-bd 用 5U ベースユニット (シャーシ)	搭載 可能数	サーバブレード	最大 40(1 スロットブレード搭載時、上下 2 段構成、各段 20 スロット) 最大 20(2 スロットブレード搭載時、上下 2 段構成、各段 10 スロット)
		内蔵 LAN スイッチ モジュール	最小 0/最大 4
		コントロールボックス モジュール	標準 1
		電源モジュール	最大 5[2+1/3+1*3/4+1 冗長構成]
		システム冷却ファン モジュール	標準 5 (各モジュール内蔵ファン:標準 2[1+1 冗長構成])
		内蔵 LAN スイッチ 冷却用ファンモジュール	標準 1 (モジュール内蔵ファン:標準 3[2+1 冗長構成])
	外形寸法、最大質量	440(W) × 779(D) × 219(H)mm (5U サイズ)、約 86kg	

*1 Linux サポートサービスの契約を前提としてサポートします。ただし、Linux インストール作業代行サービスには対応していません。

*2 「かんたん Hadoop ソリューション for バッチ処理(Asakusa Framework & JP1)」では、2 スロットブレードを使用し、1 スロットブレードは使用しません。

*3 2 スロットブレードおよび 1 スロットブレードのインテル® Xeon® プロセッサ E3-1220L モデルでのみ選択できます。ただし、2 スロットブレードと 1 スロットブレードを混載する場合、およびプロセッサの異なるサーバブレードを混載する場合には選択できません。

■ 他社商標注記

- ・インテル、Intel、インテル Core、Xeon は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- ・Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat Inc.の商標または登録商標です。
- ・Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- ・記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
